愛知県福祉サービス第三者評価事業　評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人　岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：名東ピッコロ保育園	種別：保育所	
代表者氏名：　木 塚　洋 子	定員（利用人数）：　　４０　名	
所在地：　名古屋市名東区香流１丁目１１１４番地		
TEL：０５２－７２５－８０２０		
ホームページ：http://www.katsurafukushi.jp/piccoro/shisetsu_meito.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成２４年６月１日		
経営法人・設置主体（法人名等）：　社会福祉法人　桂福祉会		
職員数	常勤職員：　　１２　名	非常勤職員　　５　名
専門職員	（専門職の名称）　　名	
	園長　　１　名	
	主任保育士　　１　名	
	保育士　　８　名	４　名
	医師	１　名
	栄養士　　２　名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室　４室	多目的室　調乳室　沐浴室 調理室　医務室　事務室 相談室　トイレ　倉庫　テラス

③理念・基本方針

保育理念

・常に子ども達にとってのよりよい環境づくりをめざし、子ども達一人ひとりの大切な命を守ります。
・養護と教育の一体となった保育を進め、豊かな人間性をもった子どもを育成します。

保育方針

・温かな家庭的なぬくもりのある保育を大切にします。
・一人ひとりの子どもの状況や発達について理解し、発達に応じた保育をすすめます。
・家庭や地域との連携を図り、就労と育児の両立、地域の子育て支援等を積極的に行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

＜各種マニュアルが整備されている。＞
　保育の基本を標準化したマニュアルがあり、写真を使用して分かりやすく示している。園内研修時に、保育の方法、保育士の関わり、配慮等について話し合いの場を設け、園長・主任から保育士に指導を行っている。保育の基本をマニュアルに明記し、一定の水準を保った上で、個々の子どもの個別性に着目した対応ができるよう、職員会議や研修会において理解を深めている。保育場面では、クラス会議等での検討やチーフ担任から指導を行っている。

＜職員の働きやすい就業環境づくりに取り組んでいる。＞
　職員の年次有給休暇１００％取得に取り組み、事務作業時間を勤務時間内に確保し、各種休暇制度を充実させ、ワーク･ライフ･バランスに配慮した就業環境づくりに取り組んでいる。また、安定した園運営のため、様々なチャネルを通じた求人活動を行い、定数以上の職員配置に努めている。また、健康診断やインフルエンザ予防接種の全額負担を実施し、早期発見・早期治療に効果を上げている。職員の福利厚生については、二つの共済会に加入し、親睦会への補助等、福利厚生の充実に取り組んでいる。

＜生活環境づくりができている。＞
　保育室は床暖房であり、子どもたちは登園すると裸足で過ごしている。持ち物はロッカーに入れ、遊具、教材は収納棚に納める等整理ができているので、子どもたちが安全にハイハイしたり、動いたりできる環境が整備されている。またトイレは保育室からスムーズに利用でき、戸外のデッキには日よけがある。一年を通して採光に優れ、心地よく過ごすことができる。保育室の窓やトイレの扉には指を挟まないように工夫されており、安全に配慮している。

＜子どもを否定しない言葉がけに留意している＞
　子どもの発達と声かけの「一ロルール」等を、研修成果をもとに、保育士と保護者で共有し、それぞれの場面で使用している。

＜達成感を味わうように工夫している。＞
子どもの発達に応じて自主性が育つ活動計画を立て、「頑張りボード」を作り、達成できるとごほうびシールを貼る等、子どもたちの頑張る目標を立てている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 ２９ 年 ６ 月 ９ 日（契約日） ～ 平成 ３０ 年 ３ 月３１日（評価決定日）
受審回数（前回の受審時期）	１ 回 （初回）

⑥総評

◇特に評価の高い点

＜子どもが安全に活動できるよう環境づくりが整備されている。＞

子どもの持ち物は、各自ロッカーに収納し、おもちゃや教材は収納庫に整理されている。整理整頓に加え、収納に様々な工夫が見られ、限られたスペースを有効的に使い、子どもたちの動線に配慮している。また、遊びのコーナーと食事の場を区別し、子どもが安全に活動できるよう配置がなされている。トイレは保育室からそのまま利用でき、大きい子が下着を着脱することがスムーズにできるよう手作りの長椅子が設置されている。子ども自身が自主的に利用できる清潔な環境となっている。戸外の設置されている木製のデッキは、保育室からそのまま出て遊ぶことができ、電動の日よけの下で、プール遊びを行う等、活動の場となっている。

＜食育の取り組み＞

栄養士が子どもたちに食材に触れたり、切って見せる等食べることに興味や意欲が育つ取り組みをしている。また、行事食にも力を入れ、子どもが喜ぶ楽しい食事を提供している。

献立には旬の食材を使用し、会議の際に職員に紹介し、知らせている。子どもには食育を通して旬の食材について知らせている。節分や七夕等の行事には特別メニューを用意したり、なごやメニュー(味噌を使った食事)を用意したり、盛り付けを工夫して子どもたちが楽しく、おいしく食事ができるよう工夫している。栄養士が子どもと一緒に食べることで、喫食状況を把握したり、様子を見たりする機会を設けている。

＜子どもの人権を尊重する保育に重点を置いた保育の実践に努めている。＞

事業計画の中で、「一人ひとりの子どもたちの人格を尊重しながら、発達を踏まえ、心穏やかに愛情を持って接する。」との基本方針が明記されており、子どもの人権を尊重する保育に重点を置いた保育の実践に努めている。勤務マニュアルに子どもの人権を守るための留意事項を明記し、読み合わせ、確認等を行って、職員会議や勉強会で全職員の意識向上に取り組んでいる。勤務マニュアルは職員の行動規範となっており、保育実践は、毎月の職員による各種の委員会活動や各部会活動の中で見直しされ、課題改善されていくというＰＤＣＡサイクルができている。また、子どもの人権を尊重する保育の共通理解のために、合同研修会でエピソード研修を実施している。

＜業務のＩＣＴ化（情報通信技術）を推進し、業務の効率化に努めている。＞

業務のＩＣＴ化（情報通信技術）を推進し、業務の共有化や効率化に努めるとともに経費節約等、コスト管理に向けた取り組みを行っている。職場の５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を徹底し、収納設備や収納手法を標準化し、業務の効率化だけでなく、効率的な空間活用ができている。また、収納システムに優れている。

＜職員の資質向上のため職員教育に取り組んでいる。＞

目標管理の中で意向を把握し、研修年間計画が策定され、その中で、職種別研修、テーマ別研修、経験年数に応じた研修等、様々な外部研修への参加や、各種の園内研修、公開保育等が実施されている。法人全体研修として、毎年、保育園６園で開催する大規模な合同研修会は、全職員が参加できるように日曜に開催し、外部講師からの講義と園の実践報告やグループ演習を行うもので、全園の職員が一堂に会し、顔の見える情報交流ができる機会にもなっている。参加した研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員に周知を行い、次の研修へ反映させている。

＜生活環境にも恵まれている。＞

保育室は床暖房であり、子どもたちは登園すると裸足で過ごしている。持ち物はロッカーに入れ、遊具、教材は収納棚に納める等整理ができているので、子どもたちが安全にハイハイしたり、動いたりできる環境が整備されている。またトイレは保育室からスムーズに利用でき、戸外のデッキには日よけがある。一年を通して採光に優れ、心地よく過ごすことができる。保育室の窓やトイレの扉には指を挟まないように工夫されており、安全に配慮している。近隣の公園に積極的に出かけたり、ファミリースポーツクラブの運動遊びや大型遊具を利用して遊ぶ等体力づくりに努めている。散歩に出かけることで、地域の人たちとの触れ合ったり、近くの施設を見学したりする等して、様々な社会体験の機会を作っている。

＜安全対策が行なわれている。＞
　保育計画は年齢ごとに養護・教育面をしっかり捉えた柔軟性のある計画が立てられている。保育方針や目標に沿って、きめ細やかな保育が行われ、一人ひとりの個性を尊重した支援に努めている。
　安全対策、環境整備やリスクマネジメント委員会を設置して、ヒヤリハット事例を収集し、職員会議等で分析を行い、全職員に周知し、安全確保のための意識を高めている。ヒヤリハットについては、小さな事例でも、その都度、分析し、全職員に周知する等して再発防止に努めている。月ごとに担当を決め、保育設備や遊具、備品類に対する安全確認やメンテナンスに対する園内巡視を行っており、全職員による安全に対する意識付けを強化している。

◇改善を求められる点

＜公認会計士による外部監査の実施に向けた取り組みに期待したい。＞
　　司法書士・税理士・社会保険労務士といった法律や会計・労務管理の専門家による指導を受けている。会計事務所や社労士事務所等の経営指導を受け、経営分析を行い、経営改善に取り組んでいる。公認会計士の監査が必要になる規模の法人ではないが、現在、公認会計士による外部監査を検討中とのことであるので、今後、必要に応じて実施を検討されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

　福祉サービス第三者評価を初めて受審し、全職員が現状を振り返り、見直すよい機会となりました。評価でいただいた良い点を大切にし、改善すべき点などにつきましては改めて確認する事ができ改善に向けた取り組みを行っていきます。今後、さらに職員の資質向上を目指すとともに保護者との相互理解を深め、子どもたちにとってのより良い保育園づくり、保育サービスの提供に努めて参りたいと思います。

⑧第三者評価結果

　別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。